

日本腹部救急医学会 平成 28 年度総会(旧評議員会)

日 時 : 平成 28 年 3 月 4 日(金) 12:20~13:20

場 所 : 京王プラザホテル 本館 5F 第 5 会場

出席者: 評議員総数 433 名

出席評議員 338 名 (委任状を含む)

I. 理事長挨拶

定刻、平田理事長より、以上のとおり出席評議員数が、定款第24条第9項の規定による総会成立要件を満たしている旨報告され、本総会の成立が宣言された。

II. 議事録署名人(2名指名)と議長

平田理事長より、議事録署名人として、鈴木修司評議員(東京医科大学茨城医療センター)、武田和憲評議員(仙台医療センター)が指名され、同2名の承諾と出席者の同意を得た。続いて、慣例により理事長の指名を受けた第52回総会の内田会長が議長となり、以下の議事が進行された。

III. 審議事項

A. 各種委員会審議事項

1. 編集委員会

中島理事より、以下①②について資料に基づき説明があり、以下のとおり承認された。

- ① 平成 28 年 3 月に定年退任される委員長と委員に代わり、編集委員会が推薦する次の 2 名を新編集委員長および新編集委員とする。
 - ・【新編集委員長】櫻井 洋一(和洋女子大学大学院, 千葉県済生会習志野病院外科)
 - ・【新編集委員】浮山 越史(杏林大学 小児外科)
- ② 学会誌査読を依頼された場合には、評議員の責務として是非お引き受けいただきたい。

2. 倫理委員会

太田理事より、倫理指針について説明があり、以下のとおり承認された。

- ① 学会ホームページで倫理指針案を公開(平成 28 年 4 月を予定)し、パブリックコメントを求めることとする。
- ② 次回第 53 回の演題登録時より倫理指針に関するチェック項目を導入することとする。

3. 評議員選考委員会

中村理事より、新評議員の選出に関して資料に基づき説明があり、以下 50 名を新評議員とする旨承認された。

(* : 理事推薦 7 名)

	氏名		氏名		氏名
1	明石 英俊 *	18	川崎 誠康	35	寺嶋 真理子
2	赤堀 浩也	19	菅野 仁士	36	那須 亨
3	穴井 洋	20	國崎 主税	37	萩原 正弘
4	飯田 浩行	21	黒田 雅利	38	濱口 満英
5	伊在井 淳子	22	五藤 倫敏	39	東 幸宏
6	石丸 直樹	23	繁光 薫	40	平田 敬治 *
7	磯 幸博	24	島崎 二郎	41	松田 明久
8	稲木 紀幸	25	進士 誠一	42	三澤 健之
9	稲葉 基高	26	鈴木 崇生	43	三宅 亮
10	今川 敦夫	27	高原 秀典	44	村上 隆啓
11	内田 信治	28	田上 修司	45	森田 賢 *
12	梅村 修一郎	29	高山 祐一 *	46	矢口 有乃 *
13	大木 隆生 *	30	高良 博明	47	山村 英治
14	太田 竜	31	滝沢 一泰	48	山本 寛
15	落合 秀人	32	巽 博臣	49	吉留 博之
16	尾原 秀明	33	谷 眞至 *	50	渡野邊 郁雄
17	笠島 浩行	34	田村 利尚		

また、評議員任期更新における学会誌査読の取扱いについて、理事会承認をもって定款施行細則第 5 条第 5 項を改定したことが報告され、査読の促進に協力いただきたい旨の説明がなされた。

4. 財務委員会

吉田理事より、「平成 27 年度収支決算」に関して資料に基づき説明された。その後、上西監事より監査の結果、適正に管理・運用されていることを確認した旨報告され、原案どおり承認された。(別添資料あり)

続けて、吉田理事より、「平成 28 年度収支予算案」に関して資料に基づき説明があり、原案どおり承認された。(別添資料あり)

5. 利益相反検討委員会

前谷理事より、「腹部救急医学研究の利益相反に関する指針・補足」及び「利益相反の取り扱いに関する規定」の改訂案について資料に基づき説明があり、原案どおり承認された。

6. 認定医・教育医制度検討委員会

山下理事より、以下①～③について資料に基づき説明があり、以下のとおり承認された。

- ① 暫定教育医第一次申請(申請期間:平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 1 月末日)について、申請者 199 名を暫定教育医として認定した。
- ② 暫定教育医第二次申請(申請期間:平成 28 年 5 月 1 日～6 月末日予定)開始にあたり、申請要件のうち、本学会での発表経験について、演者はシンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、主題関連等に限るが、司会については一般演題を含める他、座長、コメンテーターでも可とする。
- ③ 暫定教育医第三次申請は、平成 29 年 5 月 1 日から 6 月末日までを予定している。

7. プロジェクト研究計画委員会

山本理事より、以下①②について資料に基づき説明があり、以下のとおり承認された。

- ① 腹部救急を担う若手医師のための臨床研究助成について、今年度も引き続き実施することとする。
- ② 新たに会員公募によるプロジェクト研究への助成（1 研究あたり 30 万円、2 演題の採択を予定）を実施することとする。

B. 平成 28 年度事業計画書案

平田理事長より、平成 28 年度の事業計画書案に関して資料に基づき説明があり、以下①～⑨につき原案どおり承認された。

【個別の事業】

- ① 会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 項）
- ② 機関誌、論文図書等の刊行（定款第 4 条第 2 項）
- ③ 腹部救急疾患に関するガイドラインの策定とそれらの改訂
- ④ 内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第 4 条第 3 項）
- ⑤ 腹部救急医学に関する研究及び調査
- ⑥ 日本腹部救急医学会認定医・教育医制度
- ⑦ 研究の症例と優秀な業績の表彰
- ⑧ 医療政策に関する建議
- ⑨ その他、前条の目的を達成するために必要な事業（定款第 13 条第 4 号）

C. 名誉会員・特別会員推戴の件

平田理事長より、平成 29 年の名誉会員および特別会員の推戴候補者に関して説明があり、以下のとおり承認された。

《名誉会員推戴者》

対象なし

《特別会員推戴者：12 名》

内山 哲史	(うちやま てつじ)	兼坂 茂	(かねさか しげる)
尾崎 正彦	(おざき まさひこ)	竹之下 誠一	(たけのした せいいち)
富田 涼一	(とみた りょういち)	福永 正氣	(ふくなが まさき)
中川 国利	(なかがわ くにとし)	藤崎 真人	(ふじさき まさと)
仁瓶 善郎	(にへい ぜんろう)	前田 耕太郎	(まえだ こうたろう)
葦澤 融司	(いらさわ ゆうじ)	行岡 哲男	(ゆきおか てつお)

また、規約担当の安藤特任理事より、昨年、平田理事長が名誉会員に推戴されたことについて、定款第 5 条に即し名誉理事長の推戴とすべきではないかとの動議が提案され、平成 29 年より名誉理事長とすることが全会一致で承認された。

IV. 報告事項

A. 庶務報告

木村幹事より、会員数に関して以下のとおり報告された。

- ・平成 27 年 2 月 9 日時点の会員総数：5,142 名
- ・平成 27 年 2 月 10 日から平成 28 年 2 月 16 日までの新入会者：439 名
- ・平成 27 年 2 月 10 日から平成 28 年 2 月 16 日までの退会者：198 名

- (うち、本人申出による退会：194名、逝去：4名、会費滞納による退会：0名)
- ・平成 28 年 2 月 16 日時点の会員総数：5,383 名
 - (役員・評議員：424 名、名誉理事長：2 名、名誉会員：46 名、特別会員：117 名、正会員 4,570 名、準会員 171 名、一般会員 58 名)

B. 平成 27 年度事業報告

平田理事長より、平成 27 年度の事業報告に関して、資料のとおり予定事業を遂行した旨報告された。

C. 各種委員会報告

1. 在り方委員会

海野理事より、資料に基づき以下のとおり報告された。

- ① 認定医制度セミナーの受講クレジットが、総合診療専門医養成プログラムなどの他の専門医取得のクレジットとして日本専門医機構に認められるよう働きかけたい。
- ② 将来的な学会会期として、現行の水曜日(ビジネスミーティング)、木曜日・金曜日(総会)の設定から、木曜夜(ビジネスミーティング)、金曜日・土曜日(総会)の設定にすることについて検討したい。

2. 編集委員会

中島理事より、平成 27 年度の投稿論文数・論文掲載数、学会賞・奨励賞の受賞者(議事「Ⅶ. 学会賞・奨励賞授与」の項参照)、および査読委員の査読状況に関して、資料に基づき報告された。

3. 倫理委員会

太田理事より、資料に基づき以下のとおり報告された。

- ① 臨床試験申請に関する倫理審査について、以下 2 件を承認した。
 - 1) 非閉塞性腸管虚血(NOMI)全国アンケート調査
 - 2) 大腸憩室出血全国アンケート調査
- ② 倫理指針最終案に関して、第 52 回総会理事長企画において概要の説明を行った。
- ③ 倫理委員会の外部委員として、日本テレビ解説委員：高田和男氏に委嘱を打診し承諾を得た。

4. 保険診療検討委員会

杉山理事より、平成 28 年度社会保険診療報酬に向けて、外保連を通じて厚生労働省に要望書が提出された旨報告された。また、次回(平成 30 年度)の改定に向けて、評議員に対し要望項目についてのアンケートを実施させていただきたい旨説明された。

5. ガイドライン委員会

真弓理事より、資料に基づき以下のとおり報告された。

- ① 急性腹症診療ガイドラインを英文化した。
- ② 急性胆管炎・胆嚢炎の診療ガイドライン発刊から 3 年が経過し、アンケート調査による診療内容の変化等、ガイドラインの評価を行う予定である。
- ③ ガイドライン評価のための急性腹症の症例集積を行うこととし、プロジェクト研究計画委員会、臨床データベース構造化委員会、ガイドライン委員会を中心とした分野横断的な特別委員会を組織し検討を進める予定である。

6. ネットワーク委員会

橋爪理事より、メールアドレス登録状況に関して資料に基づき報告された。また、学会ホームページの利用状況調査を検討していること、広報委員会と合同で新しいメディアについての利用検討を進める予定であることが、あわせて報告された。

7. 学術委員会

水沼理事より、資料に基づき以下のとおり報告された。

- ① 平成 28 年 3 月で退任となる葦澤委員、前田委員に代わる新委員を検討している。
- ② 第 52 回総会において、ER セミナーで 3 名、ミニレクチャーで 9 名の講師を推薦した。
- ③ 認定医制度セミナーのモジュール (1 単位 : 30 分) に企画を揃えることが必要となっており、早目に抄録準備を進めることを予定している。

8. 総務委員会

北川理事より、転載依頼 (著者本人による再利用申請) を受け審議の結果、転載料なし・付帯条件なしで許諾した旨報告された。

9. 教育委員会

山下理事より、認定医制度セミナーについて、ほぼ満席での開催となっている旨報告された。また、来年はセミナーの枠が増えることから、他プログラムとの日程に配慮しながら検討していきたい旨説明された。

10. 広報委員会

内田理事より、以下のとおり報告された。

- ① 会員数増加をはかるための他学会誌への会告掲載については、掲載料を勘案しつつ、次回理事会まで継続審議とする。
- ② 社会貢献として、市民講座の開催、ホームページの拡充、SNS の利活用について検討を進める。

11. プロジェクト研究計画委員会

山本理事より、資料に基づき以下のとおり報告された。

- ① 若手医師のための臨床研究助成について、平成 27 年度は全 10 件の応募から 3 件の研究を採択し、第 52 回総会において表彰する。(議事「VIII. 若手臨床研究の表彰」の項参照)
- ② プロジェクト研究計画委員会企画の臨床研究について、各々以下のとおり進捗している。
 - 1) 非閉塞性腸管虚血 (NOMI) : 症例データ解析中
 - 2) 大腸憩室出血 : 4 月よりアンケート調査実施予定
 - 3) NCD を用いた大腸穿孔に関する研究 : 論文投稿中

D. 新幹事選任の件

平田理事長より、幹事として谷合信彦先生 (日本医科大学第一外科、第 52 回事務局長) を追加選任する旨報告された。

E. 第 52 回会長報告

第 52 回総会 内田会長より、「進歩のための原点回帰 - 集え、学べ 若い力」をテーマに 1,140 演題のプログラムで開催できた旨報告された。また、初開催となった認定医制度セミナーについて、プログラム上の不自由に対し、お詫びの言葉が述べられた。

F. 第 53 回会長報告

第 53 回総会 水沼会長より、以下のとおり準備を進めている旨報告された。

- ① 会 期：2017 年 3 月 2 日（木）・3 日（金）
- ② 会 場：パシフィコ横浜
- ③ テーマ：他を知り、多くを学ぶ - よりよいチーム医療のために -
- ④ その他：認定医制度セミナーは 2 日目の朝と午後に設定する予定である。また、系統だったプログラムとなるよう演題応募時の発表内容による区分けを検討している。

G. 第 54 回会長報告

第 54 回総会 山本会長より、以下のとおり報告された。

- ① 会 期：2018 年 3 月 8 日（木）・9 日（金）
- ② 会 場：京王プラザホテル
- ③ テーマ：千鍛万錬

H. 第 55 回会長について

平田理事長より、第 55 回総会会長として海野理事を選任することが報告され、続けて海野会長より挨拶があった。

V. 会長賞授与

内田会長より、第 52 回総会における会長賞受賞者に関して、以下のとおり報告された。

《会長賞》

- 宮下 知治 先生（金沢大学 消化器・腫瘍・再生外科）
受賞演題：シンポジウム
「敗血症性臓器障害の病態解明と診断および治療」
- 小泉 哲 先生（聖マリアンナ医科大学 消化器・一般外科）
受賞演題：パネルディスカッション
「消化器外科医が Acute Care Surgeon を目指すには」
- 清水 智治 先生（滋賀医科大学 外科学講座）
受賞演題：要望演題
「大腸穿孔の治療と予後に関する検討」

VI. 理事長賞授与

平田理事長より、第 52 回総会における理事長賞受賞者に関して、以下のとおり報告された。

《理事長賞》

- 木下 学 先生（防衛医科大学校 免疫微生物）
受賞演題：診療と研究のトピックス
「腹部救急疾患汚染手術での術後癒着軽減への挑戦
～ポリ乳酸（PLA）ナノシートの癒着防止効果の特徴～」

VII. 学会賞・奨励賞授与

平田理事長より、第 52 回総会における各賞受賞者に関して、以下のとおり報告された。

《学会賞》

- 村田 篤彦 先生（産業医科大学 医学部 公衆衛生学）
受賞論文：日本腹部救急医学会雑誌 35 巻 4 号掲載 原著

「DPC データからみた急性膵炎の在院日数および医療費の分析
—重症度に関する検討—」

《奨励賞》

- 島田 翔士 先生 (昭和大学横浜市北部病院 消化器センター)
受賞論文: 日本腹部救急医学会雑誌 35 巻 4 号掲載 症例報告
「N-butyl-2-cyanoacrylate を用いた TAE が有効であった十二指腸潰瘍を伴う
膵頭部動静脈奇形の 1 例」
- 砂川 祐輝 先生 (市立四日市病院 外科)
受賞論文: 日本腹部救急医学会雑誌 35 巻 6 号掲載 症例報告
「酷暑の野外作業の後に生じた特発性上腸間膜静脈血栓症の 1 例」

VIII. 若手臨床研究の表彰

平田理事長より、第 52 回総会における若手臨床研究助成採択者に関して、以下のとおり報告された。

《若手医師臨床研究助成採択者》

- 吉屋 匠平 先生 (飯塚病院 外科)
研究課題名: 「NOM 時代における外傷性肝損傷に対する治療成績
—NOM の適応と限界に関する検討—」
- 松岡 義 先生 (慶應義塾大学 医学部 救急医学教室)
研究課題名: 「ラットの出血性ショックにおける水素ガス吸入の効果について」
- 川口 桂 先生 (東北大学医学部 医学系研究科消化器外科学分野)
研究課題名: 「急性膵炎における抗 TNF- α 製剤の有効性とそのメカニズムの解明」

IX. 研修医・医学生セッション優秀演題賞授与

内田会長より、第 52 回総会における研修医・医学生セッション優秀演題賞受賞者に関して、以下のとおり報告された。

- 多田 尚矢 先生 (坂出市立病院)
演題番号: KK3-02
演題名: 「胃 ESD 中の巨大穿孔に対して OTSC システムによる全層縫合にて
緊急手術を回避し得た一例」
- 河合 永季 先生 (藤田保健衛生大学 医学部 総合外科・膵臓外科)
演題番号: KK7-03
演題名: 「外傷性膵損傷Ⅲb 型に対し Letton-Wilson 法を用いて軽快した一例」
- 笠間 春輝 先生 (石川県立中央病院 消化器外科)
演題番号: KK10-01
演題名: 「当院における Laparoscopic Interval Appendectomy の検討」
- 奥山 虎章 先生 (済生会横浜市東部病院 臨床研修医室)
演題番号: KK11-04
演題名: 「腹部大動脈瘤破裂による ACS に対し、OAM を施行し
早期閉腹が可能であった 1 例」

X. 名誉会員・特別会員推戴状授与

平田理事長より、平成 28 年の名誉会員・特別会員推戴者に関して、以下のとおり報告され、第 52 回総会において表彰される旨説明された。

《名誉会員推戴者: 6 名》

- 岡 正朗、谷 徹、塚田 一博、平田 公一、安田 秀喜、山下 裕一

《特別会員推戴者：8名》

小野寺 久、坂本 照夫、清水 輝久、平川 弘聖、宮崎 勝、八木 雅夫、
山口 明夫、山崎 一馬

XI. 第 52 回会長への感謝状授与

平田理事長より、第 52 回総会 内田会長へ感謝状が授与された。

議長はその他議案の発議の有無を確認し、発議がなかったため、本総会の閉会を宣言した。
以上、議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成した。

平成 28 年 3 月 4 日 一般社団法人日本腹部救急医学会 平成 28 年度総会(旧評議員会)

議事録署名欄

署名人氏名： _____ 印 平成 年 月 日

署名人氏名： _____ 印 平成 年 月 日

理 事 長： _____ 印 平成 年 月 日


独立監査人の監査報告書

平成 28 年 2 月 8 日

一般社団法人日本腹部救急医学会
理事長 平田 公一 殿

馬目公認会計士事務所

公認会計士

馬目利昭 

(1) 監査の方法と概要

私は、一般社団法人日本腹部救急医学会の平成 27 年度（平成 27 年 1 月 5 日から平成 27 年 12 月 31 日まで）の財務諸表等、すなわち、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録についての監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

(2) 監査意見

監査の結果、私は、上記の財務諸表等が、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、一般社団法人日本腹部救急医学会の平成 27 年度末日現在の財政状態、同事業年度の正味財産増減及び収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

(3) 利害関係

一般社団法人日本腹部救急医学会と私の間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

収支計算書

平成27年 1月 5日から平成27年12月31日まで

一般社団法人 日本腹部救急医学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
収入の部				
会費収入	47,810,000	47,489,000	321,000	
正会員会費	38,670,000	38,560,000	110,000	会費納入率87.3%
評議員会費	8,640,000	8,250,000	390,000	会費納入率98.4%
一般会員会費	75,000	134,000	-59,000	会費納入率84.3%
準会員会費	425,000	545,000	-120,000	会費納入率72.7%
事業収入	72,420,800	69,231,558	3,189,242	
広告収入	1,100,000	518,400	581,600	広告掲載料VOL34-8~35-7
別刷収入	4,000,000	6,989,652	-2,989,652	別刷代入金1-12月分
印税収入	1,000,000	479,672	520,328	急性肺炎,急性腹症が1ライン印税
総会収入	66,320,800	61,243,834	5,076,966	第51回総会収入
雑収入	153,000	217,463	-64,463	
受取利息	3,000	6,341	-3,341	普通預金利息,任意団体口座解約利息
雑収入	150,000	211,122	-61,122	抄録利用料,購読料1-9月,国税運付他
寄付金収入	96,813,520	96,813,520	0	任意団体からの寄付金
収入合計	217,197,320	213,751,541	3,445,779	
支出の部				
事業費支出	108,950,800	99,972,588	8,978,212	
機関誌発行費	26,800,000	27,887,436	-1,087,436	VOL34-8~35-7発行費
機関誌送付費	5,000,000	5,215,990	-215,990	VOL34-8~35-7郵送料
総会支出	66,320,800	60,508,292	5,812,508	第51回総会支出
学会賞経費	500,000	556,852	-56,852	学会賞・奨励賞賞金
編集委員会費	2,400,000	2,957,805	-557,805	H27論文管理・英文校正費,Stage利用料,編集委経費他
ガイドライン作成費	2,000,000	1,047,784	952,216	1/19会議費・旅費,7/2代表者会議委託費・旅費,英文化経費
ホームページ管理運営費	630,000	648,000	-18,000	H27ホームページ管理費
各種委員会費	2,000,000	150,429	1,849,571	1/10症例検討会議旅費,10/9臨時倫理委員会費
プロジェクト研究計画費	900,000	600,000	300,000	H26若手研究助成費用
NCDデータ解析費	2,000,000	0	2,000,000	
外保連分担金	400,000	400,000	0	H27分担金
管理費支出	14,230,000	12,278,849	1,951,151	
人件費	950,000	950,000	0	給与12-11月分
会議費	250,000	283,138	-33,138	51回総会理事会運営費,第2回理事会費用他
交通費	450,000	29,080	420,920	安藤久師先生旅費
通信費	800,000	763,692	36,308	第1-3回請求書郵送費他
印刷費	300,000	465,096	-165,096	賞状筆耕代,評議員委嘱状印刷代他
会員管理費	6,000,000	5,019,294	980,706	会員業務委託費,発送・メール配信手数料
庶務・会計業務委託費	2,000,000	3,516,648	-1,516,648	庶務業務委託費,事務局旅費
会計業務委託費	800,000	513,258	286,742	北村会計士委託料・菅原税理士報酬
電算機運用費	30,000	0	30,000	
監査費	600,000	540,000	60,000	北村会計士監査報酬
慶弔費	50,000	0	50,000	
雑費	100,000	117,785	-17,785	事務印作製費,残証発行手数料他
租税公課	400,000	158	399,842	任意団体口座解約支払利息
法人税、住民税及び事業税	1,500,000	80,700	1,419,300	札幌市法人税,H27都民税均等割
予備費支出	50,000	0	50,000	
支出合計	123,230,800	112,251,437	10,979,363	
当期収支差額	93,966,520	101,500,104	-7,533,584	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	93,966,520	101,500,104	-7,533,584	

正味財産増減計算書

平成27年 1月 5日から平成27年12月31日まで

一般社団法人 日本腹部救急医学会

(単位:円)

科 目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
会費収入	47,489,000
正会員	38,560,000
評議員	8,250,000
一般会員	134,000
準会員会費	545,000
事業収入	69,231,558
広告収入	518,400
別刷収入	6,989,652
印税収入	479,672
總會収入	61,243,834
雑収入	217,463
受取利息	6,341
雑収入	211,122
経常収益計	116,938,021
(2) 経常費用	
事業費	99,972,588
機関誌発行費	27,887,436
機関誌発送費	5,215,990
總會支出	60,508,292
学会賞経費	556,852
編集委員会費	2,957,805
ガイドライン作成費	1,047,784
会議費	78,840
交通費	504,514
雑費	464,430
ホームページ管理運営費	648,000
各種委員会費	150,429
プロジェクト研究計画費	600,000
外保連分担金	400,000
管理費	12,278,849
人件費	950,000
会議費	283,138
交通費	29,080
通信費	763,692
印刷費	465,096
会員管理費	5,019,294
庶務・会計業務委託費	3,516,648
会計業務委託費	513,258
監査費	540,000
雑費	117,785
租税公課	158
法人税、住民税及び事業税	80,700
経常費用計	112,251,437
評価損益等調整前当期経常増減額	4,686,584
評価損益等計	0
当期経常増減額	4,686,584
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
寄付金収入	96,813,520
経常外収益計	96,813,520
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	96,813,520
当期一般正味財産増減額	101,500,104
一般正味財産期首残高	0
一般正味財産期末残高	101,500,104
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III 正味財産期末残高	101,500,104

貸借対照表

平成27年12月31日現在

一般社団法人 日本腹部救急医学会

(単位:円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	99,827,914
郵便振替	36,883,979
会費用 ゆうちょ銀行東京貯金事務センター	36,883,979
普通預金	62,943,935
三井住友銀行大塚支店	14,254,145
北洋銀行札幌西支店	48,689,790
未収入金	579,140
仮払金	7,000,000
流動資産合計	107,407,054
資産合計	107,407,054
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払費用	3,498,264
前受会費	1,827,000
預り金	9,186
仮受金	520,000
未払法人税等	52,500
流動負債合計	5,906,950
負債合計	5,906,950
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2. 一般正味財産	101,500,104
正味財産合計	101,500,104
負債及び正味財産合計	107,407,054

注記

1. 任意団体からの寄付金収入

平成27年1月5日付けで一般社団法人日本腹部救急医学会が成立したことに伴い、前日における任意団体「日本腹部救急医学会」の次の財産を引き継いだことによる収入である。

「平成27年1月4日現在」財産目録（引き継ぎ財産の内訳）

(単位:円)

I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	90,307,986
未収入金	596,612
前払費用	3,908,386
仮払金	7,000,000
資産合計	101,812,984
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払費用	2,575,564
前受会費	1,001,000
仮受金	10,000
未払法人税等	1,412,900
負債合計	4,999,464
正味財産	96,813,520

2. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用、仮払金、未払費用、前受会費、預り金、仮受金、未払法人税等を含めている。

なお、当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

3. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	当期末残高
現金預金	99,827,914
未収入金	579,140
仮払金	7,000,000
合 計	107,407,054
未払費用	3,498,264
前受会費	1,827,000
預り金	9,186
仮受金	520,000
未払法人税等	52,500
合 計	5,906,950
次期繰越収支差額	101,500,104

財産目録

平成27年12月31日現在

一般社団法人 日本腹部救急医学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	郵便振替		36,883,979
		会費用ゆうちょ銀行		36,883,979
		東京貯金事務センター		
		普通預金		62,943,935
		三井住友銀行大塚支店		14,254,145
		北洋銀行札幌西支店		48,689,790
	未収入金 仮払金	別刷代未収金 総会補助金	第52回総会補助金仮払	579,140 7,000,000
流動資産合計				107,407,054
資産合計				107,407,054
(流動負債)	未払費用 前受会費 預り金 仮受金 未払法人税等	平成27年度諸経費	投稿論文管理費、ホスピタル管理費等	3,498,264
		次年度以降会費		1,827,000
		源泉所得税		9,186
		暫定教育医申請料	暫定教育医申請料12月入金分	520,000
		未払法人税	H27都民税均等割未払分	52,500
流動負債合計				5,906,950
負債合計				5,906,950
正味財産				101,500,104

※1 第51回総会収入の内訳

1 参加費収入	22,173,000 円
2 拡大プログラム委員会参加費収入	355,000
3 広告掲載料収入	1,890,000
4 展示会出展料収入	2,581,200
5 共催費収入	23,436,000
6 寄附金	10,631,000
① 日本製薬団体連合会	6,500,000
② 日米医学医療交流財団	3,501,000
③ その他	630,000
7 雑収入	177,634
収入計	61,243,834

※2 第51回総会支出の内訳


1 事前準備費	9,089,833 円
① 事務費	2,960,000
② 演題処理関係費	1,045,000
③ プログラム・抄録集関係費	3,193,139
④ ホームページ関係費	425,000
⑤ 制作物関係費	769,000
⑥ その他	697,694
2 当日運営費	47,463,064 円
① 会場費	8,573,152
② 会場付帯設備費	10,254,600
③ 機材関係費	260,000
④ 看板・装飾費	1,156,000
⑤ 機器展示設営費	539,000
⑥ ポスター経費	1,009,000
⑦ 看板、ポスター、展示 設営撤去費	647,000
⑧ 運営人件費	4,331,096
⑨ 運営諸経費	2,613,305
⑩ 旅費・宿泊・謝金	10,414,240
⑪ 飲食・会合費	7,665,671
3 事後処理費	515,198 円
4 その他	1,829,892 円
5 消費税	1,610,305 円
6 予備費	0 円
支出小計	60,508,292
7 学会返納金	735,542 円
支出計	61,243,834

監査報告書

一般社団法人日本腹部救急医学会

理事長 平田公一 殿

平成28年 2月 24日

監事 上西 紀夫 

監事 安田 秀喜 

私たちは、平成27年1月5日から平成27年12月31日までの平成27年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会およびその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支および財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

一般社団法人 日本腹部救急医学会

平成28年度収支予算書(案)

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

収入の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	備 考
会費収入	47,611,700	正会員: 4,578名×85%×10,000= 38,913,000 評議員: 419名×95%×20,000= 7,961,000 一般会員: 58名×80%×3,000= 139,200 準会員: 171名×70%×5,000= 598,500
事業収入	67,250,000	
広告収入	500,000	
別刷収入	5,000,000	Vol.36-1～7
印税収入	500,000	ガイドライン関係
認定医・教育医制度事業収入	4,000,000	申請料・認定料: 第一次募集300万、第二次募集100万
第52回総会収入	57,250,000	第52回総会予算案より(総会からの返納金700万を除く)
雑収入	153,000	
受取利息	3,000	
雑収入	150,000	許諾抄録利用料・学会誌購読料
収 入 合 計	115,014,700	
前 年 度 繰 越 金	101,500,104	
合 計	216,514,804	

支出の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	備 考
事業費支出	98,998,000	
機関誌発行費	25,000,000	Vol.36-1～7
機関誌発送費	4,600,000	Vol.36-1～7
第52回総会支出	57,250,000	第52回総会予算案より(学会からの仮払700万を除く)
学会賞経費	500,000	学会賞1名、奨励賞2名
編集委員会費	3,000,000	
ガイドライン作成費	1,000,000	胆管炎・胆嚢炎診療ガイドラインアンケート調査費用、英文別刷代等
ホームページ管理運営費	648,000	
各種委員会費	1,000,000	
認定医・教育医制度事業費	2,400,000	第一次募集経費140万、第二次募集経費100万
プロジェクト研究計画費	1,200,000	若手臨床研究助成20万*3件等
NCDデータ解析費	2,000,000	
外保連分担金	400,000	H25年度より値上げ
管理費支出	13,400,000	
人件費	600,000	H28.1-12月(1人)
会議費	250,000	理事会費用
交通費	100,000	
通信費	800,000	
印刷費	300,000	
会員管理費	5,500,000	会員管理業務委託費、学会誌発送手数料他
メールアドレス管理費	0	
庶務・会計業務委託費	3,500,000	学会支援機構への業務委託分
顧問料	700,000	会計士監査報酬54万円、社労士報酬16万円
慶弔費	50,000	
雑費	100,000	振込手数料、発送手数料ほか
租税公課	1,500,000	法人税、住民税および事業税等
予備費支出	2,000,000	
支 出 合 計	114,398,000	
当 年 度 収 支 差 額	616,700	
次 年 度 繰 越 金	102,116,804	